

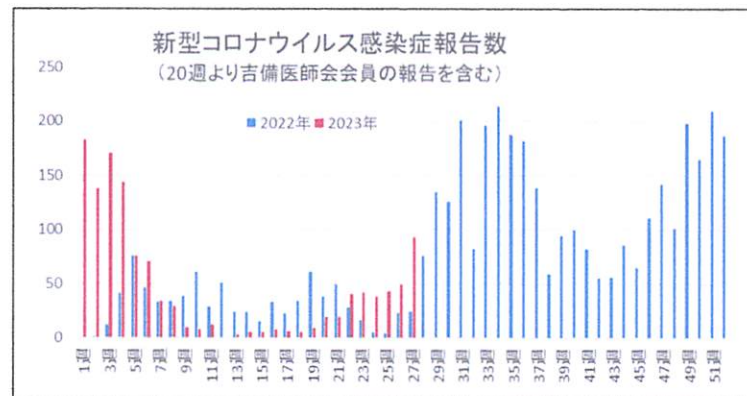
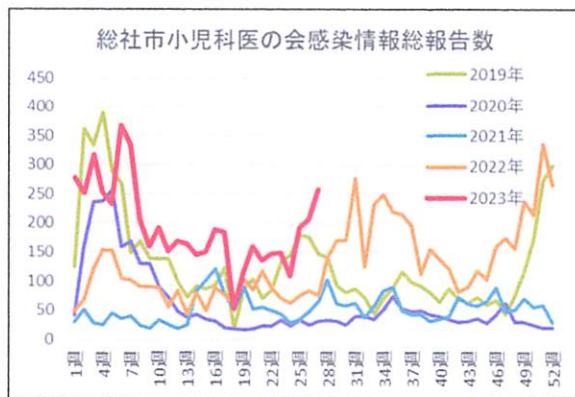
週間感染症情報

2023年25-27週 2023年6月19日より2023年7月9日まで

25週 26週 27週

麻疹			
風疹			
水痘(みずぼうそう)			
ムンプス(おたふくかぜ)	2	1	
百日咳			
溶連菌感染症	11	9	13
手足口病	23	21	17
ヘルパンギーナ	12	20	15
伝染性紅斑		1	
感染性胃腸炎	61	45	47
ロタウイルス(再掲)			
便アデノウイルス(再掲)	2	1	
突発性発疹		3	3
伝染性膿痂疹(とびひ)	5	6	3
ヘルペス性口内炎		1	
アデノウイルス感染症	6	1	
RSウイルス感染症	5	4	13
マイコプラズマ感染症			
ヒトメタニューモウイルス			1
インフルエンザ	25	33	50
インフルエンザ A	25	33	50
インフルエンザ B			
新型コロナウイルス感染症	43	49	93

25~27週の3週間分の報告です。左下のグラフは小児科医の報告数です。150~250と多い状態が続いています。感染対策の緩和により、色々な感染症が増えたことでもあります。インフルエンザAとコロナの報告が増加している事が大きいです。新型コロナウイルス感染症は20週より吉備医師会の先生方の報告を含みます。多くは成人例でおよそ報告数の半数です。27週に入り若い働き盛りの方の報告が増えていきます。さらに、28週に入り家族内感染で小児の報告が増えていきます。また、高齢者施設内での感染も増えていきます。9波は始まっています。コロナは発症数日前から感染力があります。医療機関・施設・教室などではマスクの着用をお願いします。昨年のような大きな流行にしないようにこの夏を乗り切りましょう。オミクロン株は軽症化したと言われてはいますが、ワクチンの効果です。未接種の方は肺炎を起こし重症化する例があります。小児の多くは軽症ですが重症化する例もあります。日本小児科学会はすべての小児にワクチン接種を推奨しています。インフルエンザAは4月は総社小学校区、5月は東小学校区で流行がありました。6月に入り清音小学校区で流行しており周囲の地区に拡大しています。流行の中心は小学校低学年です。学童など集団生活は続きます。注意が必要です。手足口病、ヘルパンギーナの流行が続いています。1日熱がないのを確認して、食事がとれて元気であれば登園できます。細菌性胃腸炎の例が増えていきます。久しぶりにO157の感染例を経験しました。軽傷に経過してよかったです。体調不良の場合は休み、手洗い・換気、周囲の感染状況によるマスクの着用は引き続きお願いします。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)